

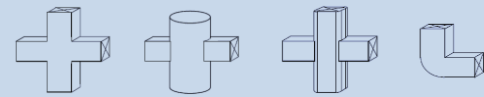
# JSP-34W

## 鋼製橋脚隅角部の設計

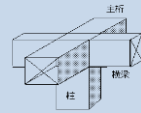
**【概要】** JSP-34W は、道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋・鋼部材編(平成 29 年 11 月)および土木学会論文集第 153 号「薄板構造ラーメン隅角部の応力計算について」(奥村敏恵、石沢成夫著)に基づき、設計断面力が作用する鋼製橋脚の平面および立体隅角部の設計を行います。

**【特長】** ①構造形式は平面隅角、立体隅角に対応しています。

◆平面隅角部



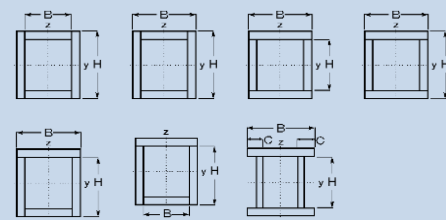
◆立体隅角部



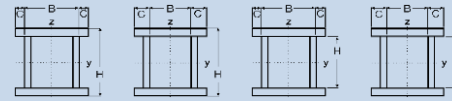
②断面計算は自動、指定より選択できます。

③断面形状は以下に対応しています。

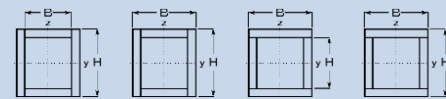
◆梁断面



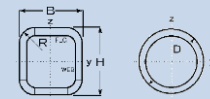
◆主桁断面



◆柱断面



◆柱断面(立体隅角は除く)



④曲面フランジについては面内断面力に対する補正係数が指定できます。

⑤JIP-SPACER(任意形立体骨組の断面力解析システム)から断面力が連動できます。

⑥合成応力度の計算方法はせん断応力度の取り扱いから以下より選択できます。

◆ $t_e/t_{ed}$ 、 $t_w/t_{wd}$  のうち絶対値の大きい方を用いる

◆ $t_e/t_{ed}$  でのみ計算

◆フランジでは $t_e/t_{ed}$ 、ウェブでは $t_w/t_{wd}$  で計算

◆ $t_e/t_{ed}$ 、 $t_w/t_{ed}$  のうち絶対値の大きい方を用いる

**【製品価格】**

		税込	税抜
使用許諾料	1 ライセンス	770,000 円	700,000 円
追加ライセンス料	1 ライセンス	165,000 円	150,000 円
サポートサービス料 <sup>※1</sup>	年間(必須)	13,200 円	12,000 円

※1 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。

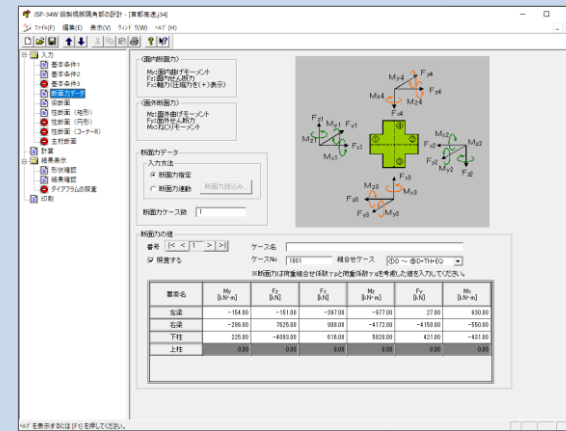
**【制限】**

断面力ケース数	180 ケース
隅角部断面は全断面有効とし、フランジとウェブにはリブが付いていないものとして計算します。	
板厚を自動決定する場合は板厚間の条件として、フランジ板厚 $\geq$ ウェブ板厚で決定されます。	
断面を構成する板厚は 2 軸対称とします。	

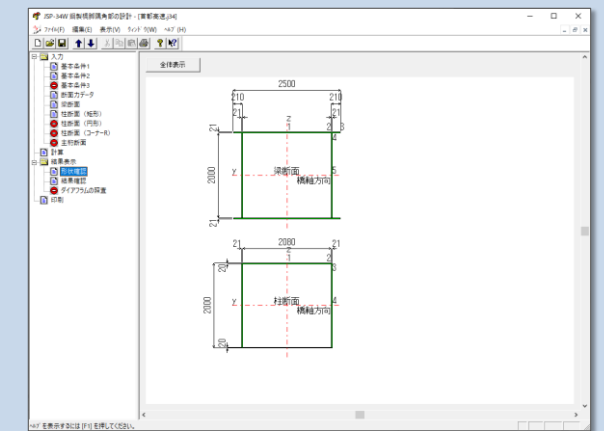
**【動作環境】** Windows 10/11

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

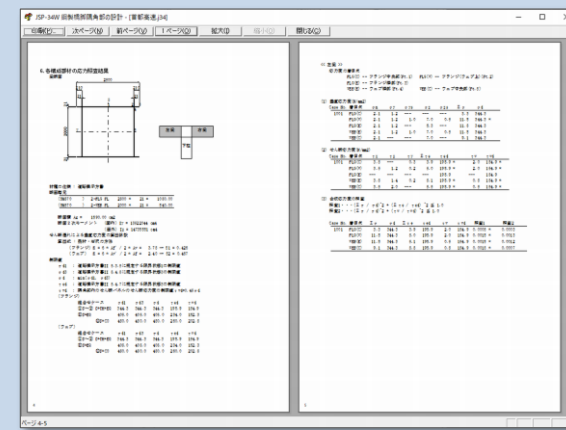
**【画面例】**



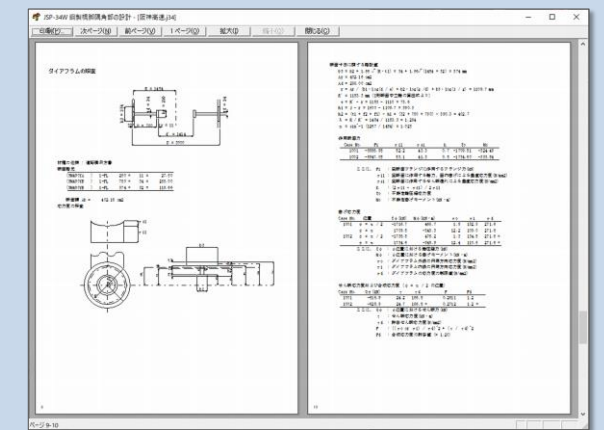
入力/断面力データ



結果表示/形状確認



印刷/計算結果帳票



印刷/計算結果帳票

